

学生近況報告

6年間を振り返り

普久原 朝 規 (6年次)

暑さも和らぎ、沖縄県にもようやく秋らしい風が吹き始めてきた今日この頃、同窓会の皆様ならびに保護者の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。今回28期生最後の原稿を書かせていただきます、28期年次長の普久原朝規と申します。

さて6年次の近況報告ということですが、去る11月7日に学生最後の試験である総合試験Ⅲを終え6年次一同、国家試験の前の束の間の休息をかみしめている所です。今年度から卒業試験の形態が従来のものと大きく変わり、より国家試験に近い内容の試験になりました。例年以上に歯ごたえのある問題が続き、これまで共に戦ってきた28期の戦友皆で卒業できることを心から願っているところです。

こうして原稿を書くに際し、いざ私の学生生活を振り返ってみると、この6年間がいかにあっという間であったのかということに驚かされました。大学入試試験の追加合格という形で学年の誰よりも最後に合格を決めた2008年3月28日から6年が経ち、『卒業』という二文字をいよいよ意識し始める時期になった今日。期待と希望に胸を膨らませ入学した頃に思い描いていた、華やかな大学生活を果たして私は送ることが出来たのでしょうか。高校生の時に憧れた青春ドラマ(作業療法士を目指す大学生を描いた『オレンジデイズ』)の主人公のようなキラキラした大学生活は送れなかった気がします。軽音部に入部しギターを弾いて唄を歌って得たのは同性からの熱烈な支持で、女性からの反応はいまひとつでした。

今まで28期生として共に歩んできた私たちですが、いよ



いよ来年からはそれぞれの道を行んでいくことになります。6年間当たり前のようにそばにいた友人が離れてしまうという寂しさはありますが、それ以上に28期生の皆がどんな素敵な医師になるのか、どんな素敵な大人になっていくのかという楽しみもあります。私たちの学年では沖縄県に残る者、県外に出る者はだいたい半数ずつとなっています。しかし近い将来また皆で沖縄に集まり、酒を酌み交わしながら、それぞれが進んだ道で得たもの、経験した事を語り合えたらなと思っております。また残された学生生活を勉学のみならず、友人たちと過ごす時間を大切に、たくさんの思い出を作っていきたいと思っています。

最後になりましたが、私たちがこうして6年間の学生生活を送ることが出来たのは、先生方をはじめ、同窓会や保護者の皆様、並びに私たち28期生に携わった皆様の支えがあってこそだと思っております。本当にありがとうございました。多くの人の支えがあってここまでやってくることができたのだということを忘れずに、国家試験に向け28期一同勉学に励んでいきたいと思っております。

5年次の近況報告

谷川 健 祐 (5年次)

皆さん、こんにちは。今回、近況報告を担当させていただきます5年次の谷川です。今年も11月に入り、ポリクリ実習

も後半の山場に差し掛かりました。実習では教科書や参考書などでは学べない実臨床ならではのことを学習させて頂き、疾患や治療に対する知識だけでなく、どのように対応するか考えるという点においても非常に有意義な時間を過ごさせて頂いています。

